

セキュリティと仮想化でビジネスを勝ち取る

最新、高速の仮想ファイアウォールと
Contrailネットワーキングとの組み合わせで、
ソフトウェア定義型セキュアネットワークがよりパワフルにスケールアップします。

2016年5月

最新ニュース

データセンター、クラウド、サービスプロバイダのSDN導入がいよいよ本格化 セキュリティがNFVのキラーアプリとして浮上

パートナー&アライアンス担当アジア太平洋地域 VP、ミッチ・ルイスは、コンテナ型ファイアウォールのcSRXと仮想ファイアウォールのvSRXの発表について、ジュニパーネットワークスのイノベーションがネットワーク事業者の高付加価値ネットワーク構築のあり方を変える好例になると語りました。

パートナーの皆様

ソフトウェア会社をめざすという弊社の決断が大きな実を結ぼうとしています。実際、SDN/NFVやオーケストレーションにおけるイノベーションが[ソフトウェア定義セキュアネットワーク](#)というジュニパーのビジョンの原動力となっています。NSS Labs 副社長のマイク・スパンバウアー氏は、ジュニパーの[コンテナ型ファイアウォール「cSRX」](#)発表のプレスリリースに「セキュリティはSDN導入を促進する“キラーアプリ”」とのコメントを寄せています。このcSRXは、業界唯一のコンテナ環境向け仮想ファイアウォールで、NFVの立ち上がりには欠かせない“最後の1ピース”なのです。

本ニュースレターでは、今回の発表がもたらす効果をまとめました。

- 「セキュリティ関連のニュース」コーナーでは、cSRXと性能向上を遂げたvSRXによってお客様のセキュアネットワークのスケールアップ（高性能化による増強）とスケールアウト（数による拡張）を実現する方法について解説します。
- 「データセンター&クラウド関連のニュース」コーナーでは、クラウドサービスプロバイダ、SaaS事業者、一般の大企業、通信事業者が自前のクラウドネットワークを大規模に運用できるようになるなど、拡大するContrail Networkingの役割について考察します。
- 「サービスプロバイダ関連のニュース」コーナーでは、クラウドCPEソリューションをご紹介します。NFV World Congressでのデモでご覧いただいたエンドツーエンドのソリューションの実現につながります。

ジュニパーは、ネットワーキング仮想化の波に乗る道を選びました。この方針は競合他社とは一線を画しています。[OpenStack ユーザー](#)を対象にした調査によれば、vSRXのような仮想マシンから、cSRXなどのコンテナ型アプリへの進化は、有望技術の中でもナンバー1との評価を得ています。また、同調査では、市販SDNコントローラの中でContrail Networkingが3年連続で首位に選ばれました。

こうしたイノベーションがもたらすビジネスチャンスを皆様が目でもぜひ確認していただきたいと思えます。この輝かしい実績を積み重ねている中、ジュニパーのチャンネルコミュニティにご参加いただいている皆様にご心からお礼申し上げます。

皆様の営業活動へのご貢献に心から感謝を込めて
アジア太平洋地域パートナー&アライアンス担当 VP
ミッチ・ルイス

データセンター&クラウド関連のニュース・資料



Contrail の機能強化とコンテナ化された新製品 cSRX で、クラウド適用領域が拡大

2016年の [OpenStack Summit](#) で [Juniper Networks Contrail](#) の新たに機能強化が発表されました。これを受け、業界をリードするジュニパーの [Contrail Networking](#) は新たなレベルに到達し、これまで以上に幅広いクラウドユーザーの皆さまにご利用いただけるようになります。例えば、クラウドサービスプロバイダ、SaaS事業者、一般の大企業、通信事業者など、自前のクラウドネットワークを大規模に運用したいユーザーが対象になります。

また、ジュニパーは、コンテナ型の新しい仮想ファイアウォール製品「[cSRX](#)」を発表しました。これはコンテナ型環境で高度なセキュリティ サービスを実現する製品で、初めて **100Gbps** を達成した仮想ファイアウォール「[vSRX](#)」のマルチコアバージョンに相当します（本ニュースレターの「セキュリティ」コーナーで詳しく取り上げます）。

Contrail Networking が主流に

ジュニパーの Contrail 製品マネージャー、プラティック・ロイチョウドフリーが先頃[ブログに投稿](#)したように、Contrail Networking はオープン ソースのクラウドネットワーク自動化ソリューションを実現し、SaaS事業者による大規模クラウドの構築、一般の大企業による新クラウド環境への移行が可能になります。また、サービスプロバイダの場合、拡張性に優れたキャリアグレードの通信事業者クラウドを構築し、複数エリアをカバーしながら高いパフォーマンスと障害回復力を備えたネットワーク機能、セキュリティ機能を利用できます（本ニュースレターのサービスプロバイダのコーナーの記事をご覧ください）。

市販の SDN コントローラで最高評価を獲得、多彩な適用領域をサポート

[OpenStack ユーザー](#)を対象に実施された毎年恒例のアンケートで、市販の SDN コントローラのうち、OpenContrail が3年連続でナンバー1に輝きました。

今日のクラウド環境では、ハイパーバイザー、オーケストレーター、コンピューティングリソース（ベアメタルサーバー、仮想マシン、名前空間、コンテナ）にまでワークロードが広がります。また、ワークロード処理には、単一のデータセンターや複数のデータセンターにあるラック間のシームレスな接続が必要です。さらにプライベートクラウド、パブリッククラウド、レガシー環境、顧客の支店環境の間でも同様にシームレスな接続が欠かせません。

今回、Contrail Networking に採用された最新の機能強化では、こうしたさまざまな異種環境同士を橋渡し・相互接続する、いわばネットワークの“接着剤”としての機能が高まりました。その際、標準のプロトコルと API を使ってマルチベンダー環境における相互接続性を実現します。

この結果、適用領域が次のように広がります。

- レガシー環境の相互接続
- 物理環境+仮想環境の相互接続
- 複数のデータセンターに分散化されたクラウド

- 物理+仮想のサービス チェイニング
- クラウドとソフトウェア定義 WAN または仮想 CPE のハイブリッド

コンテナ対応でクラウド サービス プロバイダや SaaS 事業者によるマイクロサービスへの移行を支援

Contrail Networking は、ネットワークのセグメント化により、お客様向けに Docker コンテナ ネットワーキングを実現します。つまり、お客様が仮想ネットワークを構築し、さまざまな仮想ネットワークに多彩な Docker コンテナを追加できるようになります。

さらに、Contrail Networking と、Kubernetes などのコンテナ クラスター管理システムを連携させて、Kubernetes の複数の「ポッド」にまたがったネットワークのセグメント化が可能です。こうしたポッドは、Kubernetes の「ラベル」で識別でき、内部でマイクロサービスを実行できます。その際に必要となるネットワーク セグメント化を Contrail Networking が担います。

エンタープライズ環境の移行に適したベアメタル サーバーと VMware vCenter の統合

Contrail Networking では、レガシー環境と相互接続して、ベアメタルサーバーや VMware vCenter のワークロードを実行できます。つまり、お客様にとっては、費用のかかるインフラのオーバーホールを回避できます。これまで Contrail Networking には、ToR スイッチ上のポートを管理し、ブリッジ ドメインを設定することで、仮想ネットワークをベアメタル サーバーにまで広げる機能がありました。今回の機能強化では、「vCenter as an OpenStack compute」と呼ばれる機能が採用され、OpenStack で [vCenter 環境](#) に仮想マシンを設定できるようになりました。

通信事業者向けに機能強化されたサービス チェイニング機能

通信事業者に欠かせない重要機能の 1 つにサービス チェイニングが挙げられます。この機能により、NFV（ネットワーク機能仮想化）の利用が可能になります。NFV World Congress で Intel とともにデモを実施したソリューションについては、本ニュースレターの「サービス プロバイダ」のコーナーをご覧ください。

セキュリティ関連のニュース・資料



新しいコンテナ型 **cSRX** と高速の **vSRX** による
業界トップクラスのファイアウォール機能で
セキュア ネットワーク構築

[OpenStack のユーザー アンケート](#) で有望技術の第 1 位に挙げられた Docker コンテナ。先日の [OpenStack Summit](#) で発表されたばかりのジュニパーネットワークスの新しいコンテナ型ファイアウォール「[cSRX](#)」は、業界唯一のコンテナ型仮想ファイアウォールです。コンテナは仮想マシンに利用できるセキュリティがないため、こうした製品が待ち望まれていました。次世代ファイアウォール (NGFW) の「[SRX シリーズ サービス ゲートウェイ](#)」のコンテナ版は、実運用環境での NFV（ネットワーク機能仮想化）に欠けていた“最後の 1 ピース”と言えます。

併せてジュニパーは、[vSRX virtual firewall](#) のマルチコアバージョンも発表しました。こちらは **100Gbps** に達する能力を備えており、この製品を追う競合製品に対しても **10 倍** の差をつける圧倒的なスピードを誇ります。機動性と柔軟性に優れた仮想ファイアウォールという新たな可能性を切り開きました。

スケールアップは vSRX、スケールアウトは cSRX で

vSRX はプライベートクラウド、パブリッククラウド、ハイブリッドクラウドを問わず、仮想環境で拡張性に優れた防御体制を確立します。広帯域を利用するお客様やアプリケーションに適しています。物理アプライアンスをお手本に、ルーティング、ファイアウォール、L4-L7 セキュリティの機能を完全搭載しています。マルチコア型の vSRX のパフォーマンスは、コアを追加するたびに性能向上を図ることができ、途中から性能の伸びが頭打ちになることもありません。12 の仮想 CPU (vCPU) でファイアウォールのスループットを **100Gbps** にまで高めることが可能です。

一方、コンテナ型の cSRX は、vSRX と同様の NGFW 機能を備えていますが、ルーティングプロトコルは省かれています。このため、cSRX の設置面積は非常にコンパクトで、CPU の使用量が大幅に抑えられており、即座に大量のセッションを確立できます。サービスプロバイダ環境ではマイクロサービスアーキテクチャで手軽にスケールアウト（数による拡張）が可能です。cSRX をサービスチェーンに追加するだけで、大規模なマルチテナント型クラウドネットワーク上のさまざまなコンテナアプリに対して、サービス型のセキュリティを導入できます。

データセンター、クラウド、サービスプロバイダ向けのイノベーション

ジュニパーの発表が一般企業のお客様やクラウド事業者、サービスプロバイダに与える効果については、本ニュースレターの「データセンター&クラウド」と「サービスプロバイダ」の両セクションにある記事をご覧ください。



6月9日、ファイアウォール移行のノウハウを伝授する Web キャストを実施、オンデマンド配信による Security Director のセッションも必見

レガシーファイアウォールからサービスゲートウェイの Juniper Networks SRX シリーズにリプレイスするお客様にとっては見逃せないプロモーション企画のお知らせです。

6月のセキュリティ Web キャストでは、ジュニパーのセキュリティチームがファイアウォール移行のノウハウを余すところなく伝授します。

2016年6月9日のアジア太平洋地域向け Web キャスト（全60分）に[今すぐご登録ください](#)。

ニューデリー 8:30AM、香港・シンガポール・北京 11:00AM、

東京 12:00PM、シドニー 1:00PM

5月のWebキャストのテーマは Security Director

「Security Director：拡張性と応答性に優れたセキュリティ管理アプリケーション」をテーマにお送りした5月のWebキャスト。このオンデマンド配信が開始されます。効率的で拡張性に優れた包括的なネットワークセキュリティポリシー管理の実現方法をジュニパーのセキュリティチームが解説します。



最近のセキュリティ Web キャストのシリーズ物

- [Sky Advanced Threat Prevention](#)
- [ジュニパー セキュリティ ビジョン 2016](#)
- [ジュニパー ネットワークス 2016 年セキュリティに関するビジョンとキャンペーン](#)
- [ジュニパーのセキュリティ製品による課題克服と成功](#)
- [ジュニパーのエンタープライズ向けネットワークセキュリティソリューションの販売チャンスの見極めと製品ポジショニング](#)

その他のセキュリティ関連資料

- [セキュリティ パートナー アクティベーション キット](#)
- [ジュニパー エンタープライズ ネットワーク セキュリティ 製品のポジショニング](#)
- 2016年4月（ソフトウェア定義型セキュア ネットワークに対するジュニパーのビジョンを含むスライド集）
- [ジュニパー ファイアウォール移行クラウドツール](#)

サービス プロバイダ関連のニュース・資料

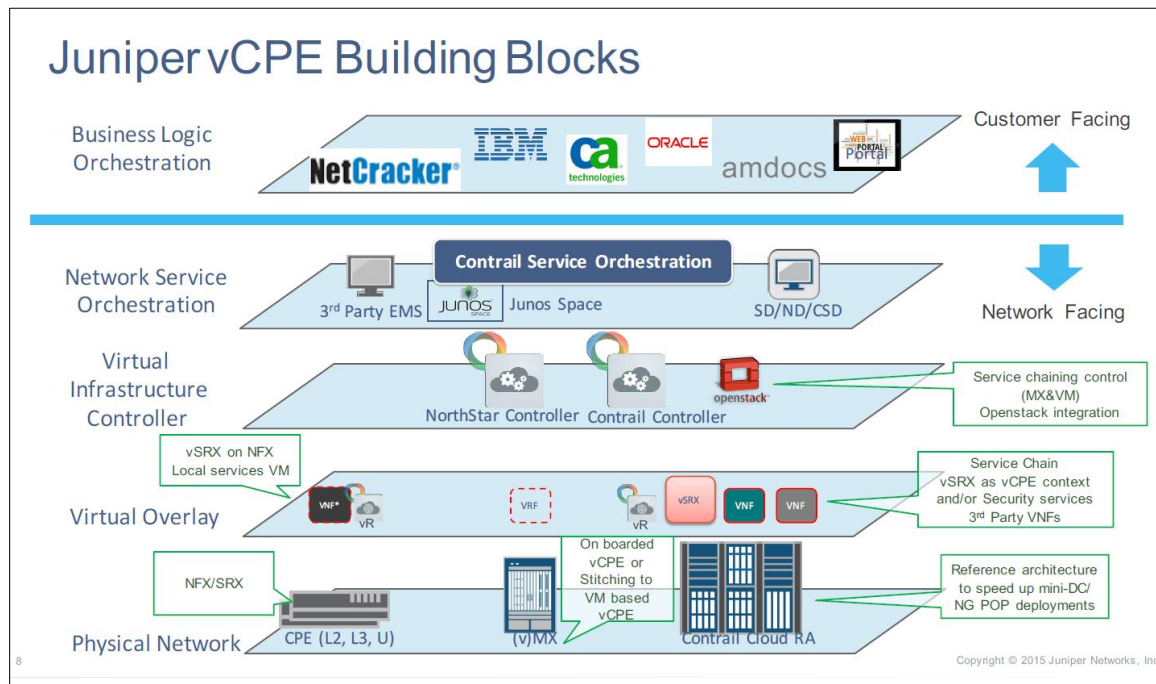


ジュニパー、NFV World Congress で仮想 CPE や
エンドツーエンドの NFV の現状をアピール

先ごろカリフォルニア州サンノゼで開催された [NFV World Congress](#) 会場に、ジュニパーの最新のイノベーションが勢ぞろいしました。

- [Contrail Service Orchestration](#) による [Contrail Networking](#) の機能強化
- [Cloud CPE](#) とオンプレミス [NFX250 ネットワーク サービス プラットフォーム](#) の組み合わせ（出荷中！）
- [vSRX 仮想ファイアウォール](#)、[vMX 仮想ルーター](#)などの VNF（仮想ネットワーク機能）
- 業界初のコンテナ型ファイアウォール、[cSRX](#)

ジュニパーは、Intel のブースにて、今年下期に出荷予定の新たなマルチコア版 100Gbps vSRX のデモを実施しました。ジュニパーと Intel は、仮想 CPE の構成要素について、詳細な説明会を開催しました。その際に[スライド](#)で取り上げたソリューションをご紹介します。



サービス プロバイダ マーケティング担当 VP のポール・オブシトニックは「ネットワーキング 通信業界に関わることは非常にエキサイティング」と語り、同イベントで **NFV** の実現性・採算性について解説しました。そのうえで、**NFV** が次のような形でサービスを変えていくことになる と指摘しました。

- 黒字化までの期間短縮
- 重要判断に伴うリスクの最小化
- 収益の最大化

通信事業者向けサービス チェイニング機能の強化

ジュニパーの **Contrail** 製品マネージャー、プラティック・ロイチョウドフリーが先ごろ投稿した [ブログ記事](#)によれば、複数拠点を抱えるサービス プロバイダでも、**Contrail** があれば、拡張性に優れたキャリア グレードの通信事業者クラウドを構築し、優れたパフォーマンスと障害回復力を備えたネットワーク機能とセキュリティ機能をシームレスに運用できます。

サービス プロバイダのイノベーションのペースはかつてないほど上がっています。特にジュニパーの最新のイノベーションを生かして新サービスを開発しようとしているプロバイダにはその傾向が顕著です。



第3 四半期の成功に向けた6月2日の パートナー マーケティングオンライン セミナーにご参加を

ジュニパーのパートナー マーケティング チームからまもなく新しいセキュリティ戦略が発表されます。ソーシャル メディア センターで利用可能なツールの最新情報のほか、2016年の需要喚起やパイプライン開発に有効なマーケティング ツールや資料、プログラムなどジュニパーの最新の投資資産の活用方法もご案内します。

2016年6月2日のWebキャストに今すぐご登録ください。
開始時刻は太平洋標準時 10:00AM、米国東部標準時 1:00PM



オンデマンド型 Web キャストによる ジュニパーの高等教育機関向けセールス プレイで、 新たなビジネス チャンスの獲得を支援

高等教育機関向けビジネス拡大のポイントをオンデマンド型 Web キャスト「[ジュニパー高等教育機関向けパートナー セールス プレイ](#)」で指南します。

市場機会は非常に大きく、デジタル学習のネットワーク トラフィックは今後3年間で10倍に跳ね上がるため、組織の成長に合わせた対応、ボトルネックの排除、ネットワーク セキュリティ上の脆弱性の緩和は、大学など高等教育機関にとって重い負担となり、ネットワークのコスト上昇と複雑化を招く恐れがあります。

こうした次世代デジタル学習環境 (NGDLE) のトレンドとしては、帯域需要が急拡大しており、旧来のネットワークでは不安定で十分な効率が確保できません。高等教育機関は拡張性、予測に対する耐性、信頼性に優れた自動化ネットワークが必要です。

高等教育機関向け分野でパートナー様とジュニパーの連携がもたらすメリット

ジュニパーの政府・教育・医療市場担当シニア ディレクター、ジョン・オーブが、高等教育機関向けビジネス開発担当ディレクターのトム・ベーマー、教育フィールド マーケティング マネージャーのティナ・オデルとともに、同市場での商談成功術について語ります。

- 高等教育機関ソリューション トレーニング リソース
- 価値の高い高等教育機関対象データ
- ソリューション、サービス、メッセージング (不招請型の提案書含む)
- セールス系・技術系の各種資料
- マーケティング資料、需要喚起のプログラム
- コマーシャル セールス パートナーシップ
- 教育市場向けのジュニパーのバリュー

ジュニパーネットワークスは、教育市場で実績ある信頼のパートナーとして、キャリアクラスのパフォーマンスと信頼性を備えたルーティング、スイッチング、セキュリティの各ソリューションを通じて、学生や教職員が求めるデジタル学習の実現に貢献しています。

大学が求めるネットワークをジュニパー製品で構築することにより、予算を圧縮できます。ジュニパーのオープンネットワークプラットフォームや複数のネットワーク機能の統合によって、使用する機器の数が削減されるからです。さらに、キャリアクラスのネットワーク OS として定評ある Junos OS を採用、習熟に必要な期間が大幅に短縮されるため、運用コストを最大 42% 削減できます。ほかにも、運用担当者のトレーニングの削減、設定ミスやダウンタイム減少に伴う設定・管理業務の大幅なコスト削減といったメリットも期待できます。



Select パートナー様、Elite パートナー様の JPA ステータス更新のお知らせ

内容を一新した「[ジュニパーパートナーアドバンテージ](#)」(JPA) プログラムの要件を満たしている **Select** パートナー様、**Elite** パートナー様のステータス更新は 2016 年 7 月 31 日が締め切りとなっています。更新手続きをどうぞお忘れなく。

昨年の JPA 関連の発表の中で、チャンピオンプログラム要件について締め切り時期を 2015 年 12 月 31 日と 2016 年 7 月 31 日とする 2 段階制を採用しました。7 月 31 日から **Select** パートナー様、**Elite** パートナー様は、保有する各製品認定に対してチャンピオ 2 名が必要です。なお、**Select** パートナー様の場合、イノベティブ レベルのチャンピオンが必要です。**Elite** パートナー様の場合、インジャーニアス レベルのチャンピオンが必要です。

ビジネス拡大のためのパートナー戦略の一環として、2015 年下期から **Select** および **Elite** のパートナー様の特典拡充と要件の強化を実施します。まず **Select** パートナー様の特典が拡充され、対象となる **Select** パートナー様ならびに **Elite** パートナー様は、インセンティブリポートプログラムにご参加いただけるようになりました。さらに、四半期別インセンティブプログラムと四半期ごとの成果に対するコンシステンシーリワードに半期目標値が新たに導入されました。サポートサービス専門の **Elite** パートナー様の場合、成果目標達成時に四半期リポートの対象にもなります。詳細については、[パートナーセンター](#)の [JPA ページ](#)をご覧ください。

2016 年 7 月 31 日を過ぎた後、 Select および Elite レベルのステータスをご継続いただくための要件

売り上げ要件

- 国別に設定された最低年間売り上げ額

「チャンピオン」トレーニング完了

- Select** パートナー様：イノベティブ チャンピオン 2 名
- Elite** パートナー様：インジャーニアス チャンピオン 2 名
- 保有する製品承認ごとにチャンピオン 2 名

※ただし、**Select** パートナー様はイノベティブ チャンピオン、**Elite** パートナー様はインジャーニアス チャンピオンであることとします。

2015 年 12 月 31 日までの要件は 1 件でしたが、今回要件が引き上げられました。

Elite パートナー様のサービス スペシャリスト要件

- パートナー サポート サービスまたはパートナー プロフェッショナル サービスのいずれかの承認の完了

Elite パートナー様の場合、承認済みの2016年事業計画が必要です。

JPA 参加に関する情報源・お問い合わせ先

- [JPA プログラム](#)の情報、特典、要件
- パートナー様担当アカウント マネージャーまたはディストリビュータ
- [ジュニパー プログラム サポート チーム](#)



ジュニパーのセキュリティ担当 CTO とパートナー様がソフトウェア定義セキュア ネットワークについて語るビデオ

今回ご紹介する1本目のビデオは、ジュニパーのセキュリティ担当 CTO、ケビン・ウォーカーが登場します。テーマは、[ジュニパー ネットワークス ソフトウェア定義セキュア ネットワーク \(SDSN\)](#) 技術によるネットワーク セキュリティからセキュア ネットワークへのパラダイム シフトです。SDSN 対応製品のご紹介のほか、SDSN のビジョンやメリットへのお客様の理解を深めていただくためにパートナー様の果たす役割がきわめて重要であることなどを説明します。



2本目のビデオは、ジュニパー ネットワークスのパートナー様4社（Copper River IT、Dispositivos Moviles、Redapt、Securematics）がジュニパーの SDSN フレームワークのほか、ネットワーク セキュリティからセキュア ネットワークへのパラダイムシフトに対してお客様がどのように反応していくのかを語ります。

過去の IDEAS/Connected イベント レポート

- [Unite クラウド対応エンタープライズ](#) :
クラウド&エンタープライズ ポートフォリオ マーケティング担当 VP のジェニファー・プラトニックが、Junos Fusion 技術を生かしてエンタープライズ ネットワークの簡素化・高信頼化を実現する [Juniper Networks Unite](#) の機能に迫ります。
- [SDN/NFV 技術](#) :
サービス プロバイダ製品マーケティング担当 VP、ポール・オブシトニックが出演、[SDN と NFV](#) を使って成長と収益力を向上させるには、大局的視点に立って、小規模から始め、最良の技術を活用することが大切だとアドバイスしています。

● [Terrapin Systems](#) :

Terrapin Systems の CEO、クリス・ベセラ氏がお客様の抱えている課題、ジュニパーのセキュリティ技術で課題を克服する手法などを紹介します。

● [ジュニパー ネットワークス ラーニング アカデミー](#) :

「ジュニパー パートナー アドバンテージ」プログラムの重要な柱に位置付けられる [ラーニング アカデミー](#)。トレーニングセッションやオンラインセミナー、バーチャルラボなど同アカデミーが提供する各種機会を通じてパートナー様が得られるメリットについて、IDEAS/Connected イベント レポートのインタビューを通じてラーニング アカデミーのテクニカル トレーニング ディレクター、エイミー・ニーマイヤーが解説します。

● [Social Media Center](#) :

Social Rep の創業者で CEO のクリス・ケントン氏は、同社独自のソーシャル メディア シンジケーション (配信) ツール「**Social Media Center**」について解説します。ジュニパー マーケティング コンシエール ジュで入手可能な **Social Media Center** は、パートナー様のソーシャル活用による売上アップを支援します。見込み客獲得ツールなど新機能の追加も予定されています。ソーシャル通になるためのヒントがたっぷり詰まった、このビデオ。どうぞお見逃しなく。

● [Juniper Financial Services](#) :

Juniper Financial Services マネージング ディレクターのマイケル・リーブシュガリースと購入のメリット&デメリット、バンドルセール、JFS の資料を活用した商談成功術などを解説します。

サービス関連のニュース・資料



MX シリーズ プラットフォームのアップグレードの際に役立つアップグレードサポート、光カードのサポートのオーダー方法、失効した契約の復活方法

MX シリーズ アップグレードの際のアップグレード サポート

お客様が MX5、MX10、MX40、MX80、MX104 の各 3D ユニバーサル エッジ ルーターにアップグレードする際、下記のようにサポート契約のアップグレードも必要です。

- 当初購入製品 : MX5-T-AC
- 当初購入サポート : SVC-ND-MX5
- アップグレードライセンス: MX5-10-UPG
- サポート アップグレードの SKU: SVC-ND-MX10

現在お持ちの MX シリーズ サポート契約に残存期間がある場合、これに相当するクレジット分をアップグレード後のサポート契約 SKU の値引きにご利用いただけます。

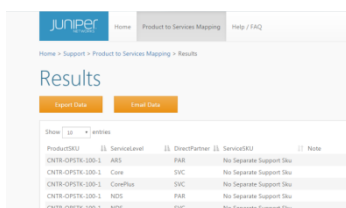
光 MIC カードのサポート

以下の光 MIC カードについては別途サポート料が必要です。現行価格表に掲載されているその他の MIC は、すべてインターフェイスカード（MPC、FPC）サポート料金に含まれています。

- MIC-3D-8OC3OC12-4OC48
- MIC-3D-8CHOC3-4CHOC12
- MIC-3D-1OC192-XFP
- MIC3-100G-DWDM
- P1-PTX-2-100G-WDM

移管非対応の単体版 Junos OS 製品の契約復活

失効して 1 年以上が経過した契約を復活させるには復活手数料が必要です。移管非対応の単体版 Junos OS 製品（QFX5200、SRX300、SRX1500）の復活手数料は、ハードウェア製品の場合、現行の Juniper Care Core Plus/Return to Factory サポート契約の 1 年分相当額、ソフトウェアライセンスの場合、現行の Juniper Care Core Support 契約の 1 年分相当額とします。



Product	Service	Support	Note
QFX5200	ServiceLevel	FSR	No Separate Support Sku
SRX300	ASL	FSR	No Separate Support Sku
SRX1500	Core	SWC	No Separate Support Sku
SRX1500	CorePlus	SWC	No Separate Support Sku
SRX1500	NSC	FSR	No Separate Support Sku
SRX1500	NSC	SWC	No Separate Support Sku

新着！ Product to Services (P2S) ルックアップ ツール

時間節約に威力を発揮するツールのご紹介です。製品 SKU に対応するサービス保守 SKU を瞬時に表示可能な「Product to Services ルックアップ ツール」が登場しました。サービス価格表から必要な保守 SKU を探したり、どの保守 SKU がどの製品 SKU に対応するのか調べたりする作業は非常に手間がかかるものですが、このツールがあればもう心配無用です。詳細についてまとめた [P2S ツールの概要](#) がダウンロード可能です。

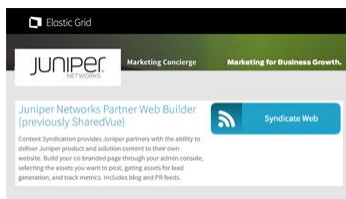


アジア太平洋地域向けリードジェネレーションキャンペーンでジュニパープロフェッショナルサービス市場を活性化

ジュニパープロフェッショナルマーケットプレイスの利用者は増加の一途をたどっています。このマーケットプレイスは、ジュニパーのソリューション導入を促進するとともに、お客様とチャネルパートナーがジュニパープロフェッショナルサービス専門パートナーを迅速に探し出し、ジュニパーのソリューションを安心して導入していただく環境づくりを目的としています。

ASEAN、インド、ANZ の各地域では当四半期に、日本では第 3 四半期に、それぞれリードジェネレーションキャンペーンを開始します。詳細については、[プロフェッショナルサービスマーケットプレイス](#) にアクセスし、[3 分間の概要紹介ビデオ](#) をご覧ください。

ジュニパー マーケティング コンシェルジュ関連のニュース



Web コンテンツ シンジケーション プラットフォームに新機能、導入効果を最大化する秘訣をまとめた Web キャスト

今月、[ジュニパー マーケティング コンシェルジュ](#)にあるパートナー マーケティング Web コンテンツ シンジケーション システムを **SharedVue** から新プラットフォームに移行します。この移行によって、システムご利用時の体感性能が向上するほか、新機能の追加、既存機能の改良も同時に実施されます。

- 新しい直感的なユーザー インターフェイス
- パーソナリ化対応 Web コンテンツ
- 鋭い視点のリード プロファイリング/レポートニング
- 強力な Web サイト分析
- CRM の完全統合
- Hubspot、Hootsuite、Pardot などのアプリとのシームレスな統合

現行のユーザー向けコンテンツを新プラットフォームに移行

弊社の **SharedVue** システムをご利用いただいている場合、シンジケーション型 Web コンテンツのほか、貴社のアカウント、ユーザー情報ともに、すべて移行対象となります。移行が完了後、現行のジュニパーのコンテンツ、貴社のレポートニング指標、リード情報、コンタクトリストにアクセス可能になります。

トレーニング オンライン セミナーがオンデマンドで利用可能に

新プラットフォームで利用可能になる新たな特長、斬新な機能については、[Juniper Partner Web Builder Training](#) をご覧ください。5月23日までにジュニパー ラーニング アカデミーで公開予定です。

また、今後数週間ほどで新しいプログラム変更箇所についての詳細情報をお届けします。ご質問は、ジュニパーPAM、もしくは support@sharedvue.net にお問い合わせください。

業界関連ニュース



最高の榮譽

「最上級の歓待を受けたような気分でした」 --。
 パートナー&フィールド マーケティング責任者のマット・ハーレーは先ごろ
 ブログに投稿し、権威あるマーキー賞最優秀リード管理プログラム部門での
 受賞について触れ、このような感想を漏らしました。



また、毎年恒例の第 10 回 Oracle Modern Marketing Experience Conference に出席して表彰を
 受けたハーレーは、別のブログ記事「[Filling Our \(Virtual\) Trophy Cabinet](#)」を投稿しました。



その中で、[CRN の 2016 パートナー プログラム ガイドで 5 つ星の評価](#)を得たと
 して、ジュニパー社員、パートナー エコシステムの全関係者に感謝の意を伝えまし
 した。

さらにハーレーは、CRN が「[2016 年の注目のチャネル責任者](#)」として挙げた
 ジュニパーのチャネル プロフェッショナル 5 人を賞賛しました。今回の改良を受け
 て CRN は、ARC (年次レポート カード) において、ジュニパーを最も取引しやす
 いネットワーキング インフラ プロバイダと評価しており、これまでパートナー様とジュニパー
 の連携促進に注力してきたハーレーは、この 5 人の受賞を誇りに思うと述べています。

セキュリティと SDN/NFV の重要性を考えれば、[CRN Security 100](#) と [Virtualization Top 50](#) の
 成果もハーレーの大きな喜びとなりました。

コマースシャル フォーカス



ソフトウェア定義セキュア ネットワークについて解説

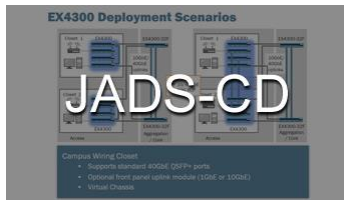
ジュニパーによるソフトウェア定義セキュア ネットワークの場合、エンドツーエンドのネット
 ワーク可視化が可能で、物理、仮想を問わずネットワーク全体のセキュリティを実現します。
 クラウドの経済性を生かし、いち早く脅威を見つけ出して阻止します。詳細については[こちら](#)
 をご覧ください。また、[ビデオ](#)もご覧ください。

パートナー コマースシャル プレイブック、ツールから報奨までワンストップでご案内

パートナー センターの [コマースシャル パートナーのページ](#)にあるパートナー
 コマースシャル プレイブックのご一読をお勧めします。このコマースシャル
 プレイブックは、コマースシャル関連のあらゆるニーズにワンストップで
 お応えします。利用可能なツールやプロセス、レポート、報奨などをご案内
 します。



ラーニング アカデミー関連のニュース



ジュニパー認定設計スペシャリストーキャンパス (JADS-CD)

JADS-CD コースは、4つのモジュールで構成され、キャンパス ネットワーク ソリューションの設計・普及促進に関わるプロセスについて概略を示します。このコースでは、ジュニパーのコンポーネントを含む最適なキャンパス ネットワーク ソリューションの開発・推奨の能力育成、お客様のニーズや懸念への対応力の向上につながります。こうしたソリューションはキャンパス ネットワークのトータルコストの削減、ネットワーク構成の簡素化の手段となります。

インタラクティブ文書「Finding Technical Information at Juniper」

ジュニパーのインタラクティブ文書である「[Finding Technical Information at Juniper](#)」は、技術系ユーザーが www.juniper.net や [パートナーセンター](#) でデジタルの技術資産を検索する際に威力を発揮します。

